

# 那珂川市図書館

## オススの1冊

『弾丸メシ』

堂場 瞬一／著 集英社 一般書【596.0 ドウ】

警察小説を中心に多くの作品を手掛ける作家の堂場瞬一さんが、ある日の打ち上げで、料理でコラムを書かないかと言われた。そしてスタートしたのがこの『弾丸メシ』だ。

この本はタイトルのおり“弾丸”といわれる“必ず日帰り”“食事は一時間以内に済ませる”に“絶対に残さない事”を合わせた3つを条件に、様々な料理について紹介している。もちろん海外など1日では行けない場所には別の用事と併せて行ったり、堂場さん自身も昔のようにたくさん食べることが出来ないと自覚しているので、他の人と行ったりと3つ条件についてはその都度臨機応変に対応している。

福島の円盤餃子や熊本の太平燕、吉祥寺のステーキやヘルシンキのカラクッコ等、誰しもが食べたことのある料理から、味や見た目の想像がつかないような料理まで、様々な場所に行き現地の料理を堪能している。この本は小説家が書いているせいか、とにかく料理を食べた時の表現が美味しそうなのだ。

餃子でいえば、見た目や食感はもちろんのこと、過去に食べたことのある餃子との比較など、あらゆる方面から読み手の食欲を刺激してくる。

思わずよだれが出てくる1冊だ。

那珂川市図書館司書（おさるさん）